

## システム監査技術者 解答例

## 【午 後 I】

## 問 1 (配点 50 点)

## 設問 1 (10 点)

調査対象とするライブラリを, 調査目的に応じて洗い出すために定められた方法と手順

## 設問 2 (10 点)

十分なテスト範囲を特定するために, 調査用ツールを使用して保守要件に伴う影響範囲を調査する。

## 設問 3 (20 点: 記載すべきコントロール 10 点, 障害報告書に記載すべき項目 10 点)

(記載すべきコントロール)

障害情報をデータベース化して, 委託先も含めた保守担当者全員で共有化し, その確認を義務付ける。

(障害報告書に記載すべき項目)

障害内容と障害発生時の状況, 障害の根本原因, 再発防止策, 予防措置に対する方針など

## 設問 4 (10 点)

対象ドキュメントが保守業務の作業標準及びルールに準拠し, かつ最新状態に更新されているか。

## 問 2 (配点 50 点)

## 設問 1 (10 点)

予算修正入力が軽微な予算修正に当たるか否かをチェックする機能

(別解) 軽微な見直しに該当しない予算修正入力を判別し受け付けない機能

## 設問 2 (10 点)

製品カテゴリ別業績管理に必要な実績データが変更した会計システムの設定で取り込めるか留意する。

## 設問 3 (10 点)

月次決算確定後では, 各部で必要な対応を迅速に行うことができないおそれがあるから

## 設問 4 (10 点)

利用目的に応じた登録情報を選別できず, レポート機能が有効活用されない。

## 設問 5 (10 点)

権限マトリックスを確認し, 各利用者のアクセス権限が情報の機密レベルに応じて適切なものかを確認する。

## 問 3 (配点 50 点)

## 設問 1 (10 点)

OS ベンダのサポート期間の終了により, 解消できないセキュリティの脆弱性を突いた攻撃を受けるリスク

## 設問 2 (10 点: 5 点 × 2)

- ① モバイル端末に保存するデータを暗号化する。
- ② パスワード等の認証によるモバイル端末のロック機能を有効にする。

設問 3 (10 点)

勤務時間外も対応可能な事故発生時の連絡窓口の設置や事故対応を任せる外部サービスの利用コスト。

設問 4 (10 点)

各種の届出義務, 全データ消去の承諾やソフトの制限などの制約により, BYOD にしない従業員が増えるから  
設問 5 (10 点:5 点×2)

- ① ヘルプデスク要員を増員する。
- ② 教育等で要員のスキル向上を図る。
- (別解) ヘルプデスクを外委託する。

以上